

令和3年 お茶づくり技術情報 (No.2)

2021年3月29日
佐賀県茶業技術協会
佐賀県茶業試験場

1. 気象と生育

1) 一番茶の萌芽

- (1) 茶業試験場内の作況調査園（定点調査園、品種：やぶきた）において、2021年3月28日に一番茶の萌芽を確認した。本年の萌芽日は、前年（3月27日）より1日遅く、前3か年平均（3月29日）より1日早い。
- (2) 茶業試験場内のさえみどり（慣行栽培園）では、2021年3月22日に一番茶の萌芽が確認され、前年より2日早かった。

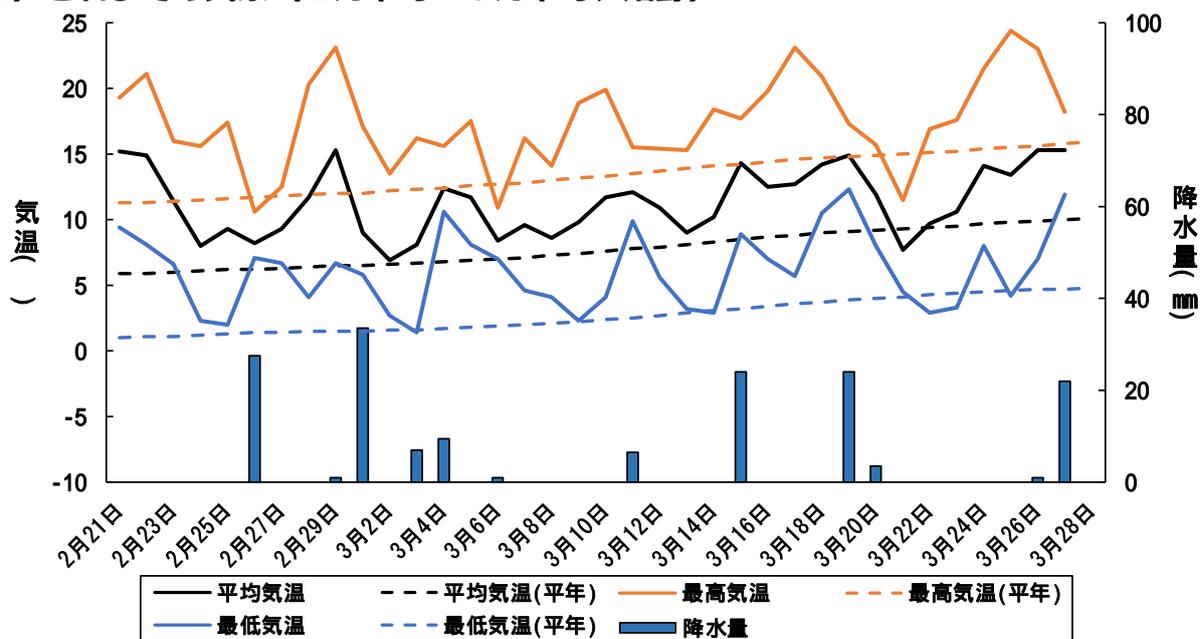


写真1 『やぶきた』の一番茶芽

写真2 『さえみどり』の一番茶芽

(撮影：2021年3月29日)

2) これまでの気象（2月下旬～3月下旬、嬉野）



- (1) 2～3月の気温は、期間を通して平年より高く推移した。
- (2) 2～3月の降水量は、2月下旬および3月下旬は平年並で、3月上旬は平年より多かった。

3) 今後の気象の見通し

■ 2週間気温予報 (気象庁、令和3年3月29日11:00発表)



(1) 今後2週間 (3/30~) の最高・最低気温は、4月7日まで平年より高くなる可能性が高いと予想され、その後、4月8日以降は平年並と予想されている。

■ 1か月予報 (気象庁、令和3年3月25日発表)

向こう1か月の天候の見通し

福岡管区气象台

九州北部地方 (3月27日~4月26日)

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
九州北部地方	低 10 並 20 高 70% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 30 多 40% ほぼ平年並の見込み

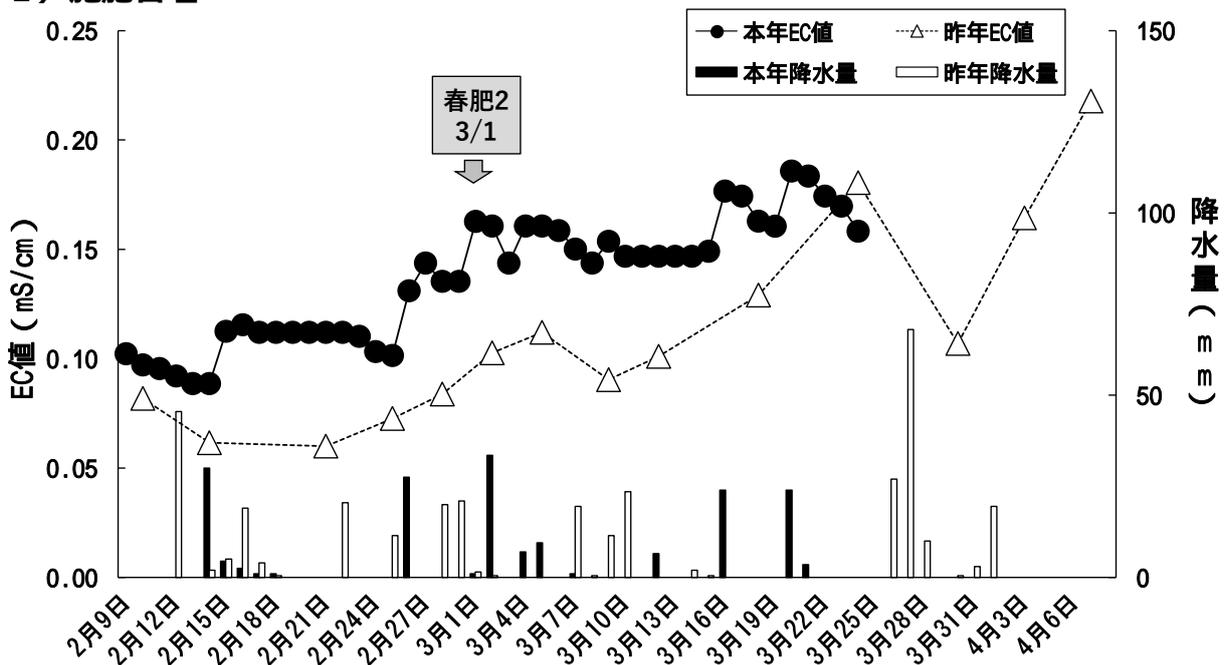
(1) 向こう1か月の平均気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年より高く、特に期間の前半はかなり高くなる見込み。

(2) 向こう1か月の降水量および日照時間は、ほぼ平年並となる見込み。

※最新の気象情報は、気象庁HPの『2週間気温予報』や『季節予報』をチェック!

2. 今後の管理

1) 施肥管理



注) 本年の土壌EC値は、雨落ち部の深さ25cm部分に埋設した土壌センサーにて測定し、実測値に基づき推定した値を示す

- (1) 土壌 EC は、2月中旬以降は前年より高く推移した。春肥 2 施用 (3/1) 後は一定に推移し、その後、気温の上昇や降雨により約 2 週間後から徐々に上昇した。
- (2) 芽出肥は一番茶摘採の 30~40 日前を基本とし、施肥後は土壌と混和する。
- (3) 分施する場合には最終施肥として速効性肥料 (硫酸など) を摘採 14 日前頃 (2 葉期) に行う。

2) 被覆

- (1) 遮光率 70%程度で、穴・汚れ・異臭のないものを使用する。
- (2) 被覆開始は、新芽の生育速度を考慮し、摘採時期より判断する。摘採が4月中下旬頃なら 2.5~3.0 葉期、摘採が5月以降なら 2.0~2.5 葉期を目安とし、期間は 10 日間程度とする (※極端な若芽への被覆は減収しやすいため避ける)。
- (3) 昨年のような新芽生育期の低温や少雨、5月に入ってから気温上昇や多雨など直前の気象条件により新芽生育は異なるため、茶園巡回と芽の観察をこまめに行い、適期の被覆開始となるように心がける。
- (3) 被覆後は、風による煽りや擦れによる葉傷みが発生しないように、資材の固定を確実に進行。
- (4) 被覆資材の除去は、摘採当日の早朝が望ましく、なるべく日光にあたる時間を少なくし、色戻りを避ける。除去時は上に持ち上げるように外し、葉を傷めないようにする。

3) 病虫害対策

病虫害対策については、『令和3年度佐賀県施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき』を参照してください。

『令和3年度佐賀県施肥・病虫害防除・雑草防除のてびき』

URL : <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321964/index.html>

